

## 成果の説明書

(氏名) 櫻井常矢	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
<b>【研究活動】</b>	
<input type="checkbox"/> 櫻井常矢『RMOの組織形成と地域政策—人材の発掘・育成の視点から—』 『地域政策研究』(高崎経済大学地域政策学会 第25巻第2号 2022年12月) 57-72頁	
<input type="checkbox"/> 科学研究費助成事業(基盤研究(C) 課題番号:19K02453 (2019~2022年度) 研究課題:「RMOの組織形成と自治体社会教育・中間支援機能の構造に関する研究」 (代表:櫻井常矢) <span style="float:right">*研究期間の1年延長</span>	
<input type="checkbox"/> (公財)トヨタ財団 2022年度イニシアティブプログラム助成事業(2022年1月~) 「持続可能な地域社会を実現する中間支援機能の検証と展開」(代表:櫻井常矢)	
<input type="checkbox"/> 調査報告書協力「令和4年度地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する調査研究 事業報告書」総務省地域力創造グループ地域振興室(2023年3月)	
<input type="checkbox"/> 学会活動 日本地域政策学会常任理事(企画委員会委員長)	
<b>【教育活動】</b>	
(1) <b>ゼミナール演習・調査活動</b>	
①文献購読:『<つながり>の社会教育・生涯学習』(東洋館出版社) 『社会教育・生涯学習の再編とソーシャル・キャピタル』(大学教育出版) 『テキスト生涯学習』(学文社)	
②海外との連携事業	
<input type="checkbox"/> 「2020年度文部科学省日本型教育の海外展開推進事業公認『グローバル公民館』プロジェクト」として、エジプトに公民館を立ち上げる取り組みにゼミとして参画(櫻井は本プロジェクトアドバイザー)。2022年度は、エジプト・アインシャムス大学との連携事業として、社会教育コーディネーター養成プログラムの開発に参画した。	
<input type="checkbox"/> 海外フィールドワーク コロナ禍で中断していた海外フィールドワーク(ゼミ合宿)を2022年2月より再開。渡航先はタイ、ベトナム、カンボジア。	
③生涯学習・社会教育研究年報(第17号)の編集・発行 論文掲載本数11本(学部卒業論文10本/大学院修士論文1本) 発行日2023年3月25日	
(2) <b>自治体・企業・地域との連携を通じたコーディネート力の育成</b>	
① 高崎市久留馬公民館との連携事業 2019年4月に新設された久留馬公民館の当該地域への定着を目的に、学習講座プログラムの企画・実施に取り組む。ゼミ生によるリアルタイム配信形式(ラジオ形式)での防災講座などを企画。2022年度も継続して取り組む	
② 株式会社 群成舎との連携事業—たかさき地域協働委員会の運営— (株)群成舎社屋の地域開放を契機に高崎市内の学校、大学、NPO、公民館、地域リーダー等による地域プラットフォーム「たかさき地域協働委員会」を設立。地域課題解決に向けたフラットなつながりを重視。	
③ NPO 法人自然王国ほその村(上越市安塚区細野集落)との連携事業 2019年度からコロナ禍で中断していた連携事業が2022年7月より再開	

## 【地域貢献】

### (1) 国、地方自治体の各種委員・アドバイザー等

- 総務省 地域力創造アドバイザー
- 総務省 地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する研究会委員 (2022 年度)
- 群馬県社会教育委員会議長 (2020.2～2022.2、2022.2～2024.2)
- 郵政事業有識者懇談会 (群馬県) 委員 (2021.10～2023.3)
- 沼田市地域づくり支援アドバイザー (2022 年度)
- 那覇市コロナ対応まちづくり協働力アップ事業アドバイザー (2022 年度)
- 大崎市政策アドバイザー (地域自治組織・市民協働担当) (2022 年度)
- (公財) 群馬県青少年育成事業団理事
- 高崎市社会福祉審議会委員 (2020.4～2023.3)

### (2) 市民協働・地域づくり・生涯学習等に関する自治体職員研修 \* ( ) 内数字は実施月

- 全国市町村職員中央研修所：市町村アカデミー研修講師  
(市長村長特別セミナー(4)、住民協働(6)、合意形成(7)、RMO(6)、政策形成(2))
- 全国市町村国際文化研修所：国際文化アカデミー研修講師 (住民協働(9))
- (一財)地域活性化センター (全国地域リーダー養成塾) 講師(6)
- 総務省「全国地域づくり人財塾・自治大学校研修」講師(11)  
その他、大阪府市町村振興協会(11)、長崎県集落対策研修会(1)、山形県市町村職員研修所(8)、福山市(6)、西条市(5)、小平市(1)、山口市(5)、会津若松市(5)、ほか

### (3) 市民協働・地域づくり・生涯学習等に関する市民向け講演

- 千曲市 ((一財)自治研修協会派遣(11))、栃木県塩谷広域行政組合 (左同(1))、福山市、西条市、那覇市、丸亀市(10)、尾道市、半田市(9,11,3)、沼田市、ほか

## 2 その他の事項

【民間助成】(公財)トヨタ財団 2022 年度イニシアティブプログラム助成採択

「持続可能な地域社会を実現する中間支援機能の検証と展開」(代表：櫻井常矢)

【報告書等】櫻井常矢「第三者の視点」こらぼチャレンジ vol.5

(那覇の協働 NEWS ペーパー第 5 号、2023 年 3 月、8 頁)

【学内業務】高崎経済大学大学院地域政策研究科長、教育研究審議会委員

教職課程運営委員会委員、地域政策学部実習運営委員会委員 ほか

\*高崎経済大学第 3 期中期計画の重点プロジェクトである大学院改革について、大学院改革検討委員会を設置し大学院改革の基本的方向性の提案を行い、大学院 FD 等を通じて学内での共有を進めた。

## 3 次年度以降の計画・抱負

(公財)トヨタ財団 2022 年度イニシアティブプログラム助成事業 (2022 年 1 月～)

「持続可能な地域社会を実現する中間支援機能の検証と展開 (代表：櫻井常矢)」について、2023 年度は全国 5 カ所での研究会の開催、並びに書籍の出版を目指す。教育活動としては、コロナ禍により中断していた国内調査、現地学習会、海外フィールドワーク等を本格的に再開させる。学内業務では、大学院地域政策研究科長として大学院改革を推進する。2022 年度の大学院改革検討委員会による基本的方向性を踏まえ、2023 年度は大学院改革委員会を新たに設置し、新たな大学院の運営体制やカリキュラム等の具体策の検討を行う。